

長崎原爆資料館の大雨による影響について（8月11日以降の対応状況）

1 これまで実施してきたこと

- ・土嚢の設置や、パテによる補修などの応急対応
- ・指定管理者、建築課、民間事業者との現地確認、原因分析、対応案協議
- ・短期で実施できる対応策の確定

2 短期的な対応（実施に向けて動いていること）

項 目	予定金額	施工完了見込日
1 土砂を排水溝に落とさない対策		
（1）法面の下側にブロックを設置し、土砂をせき止める。加えて、ブロックで、土砂と一緒にせき止められた水を排出する管を設置する。	約 10 万円	10 月 10 日
（2）土砂がブロックを越えても、排水溝の一部に、水を透過し土砂を遮るシートを敷き詰め、土砂が詰まらないようにする。	約 25 万円	10 月 10 日
2 館内に雨水を入れない対策		
（1）改めて、窓枠近辺のコーキングの充填を行う。	約 15 万円	9 月 30 日

3 中期的な対応

抜本的な対応策については、長崎市において、館内の流入経路等の確定も含めた調査を行ったうえで、工法等の検討を行い、必要な改修を速やかに行う。